



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6277 URL <https://www.hosokawamicron.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 細川 晃平
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 副社長執行役員 (氏名) 井上 鉄也 (TEL) 072-855-2225
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	18,506	2.1	726	△49.6	1,025	△39.2	150	△87.1
2025年9月期第1四半期	18,123	△10.5	1,441	△8.3	1,686	△7.7	1,162	△3.5

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 3,001百万円(△14.8%) 2025年9月期第1四半期 3,524百万円(934.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	10.25	10.24
2025年9月期第1四半期	78.60	78.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	104,487	69,366	66.4
2025年9月期	102,734	67,219	65.4

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 69,347百万円 2025年9月期 67,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 120.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	65.00	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	38,500	0.1	3,000	△16.1	3,200	△18.8	2,400	△10.8
通期	78,500	0.6	7,000	△0.7	7,400	△4.1	5,200	14.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期 1Q	15,730,538株	2025年9月期	15,730,538株
② 期末自己株式数	2026年9月期 1Q	1,071,570株	2025年9月期	1,094,550株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期 1Q	14,646,008株	2025年9月期 1Q	14,788,989株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国において過剰供給の調整が続いていることが世界経済の重しとなっているものの、アメリカやその貿易相手国の企業が関税コストを吸収する動きを強めるなど当初懸念されたアメリカの通商政策の影響が想定より小さかったことや、米国でAI関連投資の拡大が続いていること、さらには、各国で財政支出の拡大を図っていることなどが景気の下支えとなり、底堅い成長を維持しております。

このような経済環境のなか、当第1四半期連結累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前期増減額	前年同期比(%)
受注高	20,191	21,337	1,145	5.7
受注残高	48,596	49,039	443	0.9
売上高	18,123	18,506	382	2.1
営業利益	1,441	726	△714	△49.6
経常利益	1,686	1,025	△660	△39.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,162	150	△1,012	△87.1

受注高は、特に粉体関連事業において大型案件を中心に意思決定の延期傾向が続いておりますが、プラスチック薄膜関連事業においては、米国での受注回復が見られ、全体の受注高は増加いたしました。売上高も微増となり、売上総利益率の改善もありましたが、国際展示会出展費用など一時的な経費支出もあったことから販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は大幅に減少いたしました。また、ドイツ子会社において事業構造改善費用として特別損失を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益も大幅に減少いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<粉体関連事業>

当事業は、粉碎・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。

全般的に大型案件を中心に成約の遅延傾向が見られる中、食品市場向けが増加したほか、メンテナンスサービス部門も堅調でしたが、前年同期に大型案件を受注した化学市場向けや電子材料向けが反動減となりました。引合いは引き続き旺盛なもの、受注には至らず、受注高は減少いたしました。一方、出荷は順調に進み、増収増益となりました。

これらの結果、受注高は145億5千5百万円（前年同期比11.3%の減少）、受注残高は354億7千7百万円（前年同期比7.1%の減少）となり、売上高は148億6千8百万円（前年同期比7.5%の増加）となりました。セグメント利益は15億8百万円（前年同期比6.1%の増加）となりました。

<プラスチック薄膜関連事業>

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

停滞感がみられていた米国市場ですが、ごみ袋用の単層ラインから、3～5層の多層ラインを複数系列受注するなど回復傾向が見られました。他の主力市場である欧州向け、注力市場であるアジア市場は低調でしたが、事業全体では当第1四半期としては高水準の受注高となりました。一方、売上高については、当初より売上予定案件が少なく、減収となりました。また、3年に1回開催される世界的な展示会の出展に要した一時的な費用もあったことなどから、営業損益は赤字となりました。

これらの結果、受注高は67億8千1百万円（前年同期比79.2%の増加）、受注残高は135億6千2百万円（前年同期比30.1%の増加）となり、売上高は36億3千7百万円（前年同期比15.1%の減少）となりました。セグメント損失は3億8千4百万円（前年同期は3億7千8百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は、有形固定資産の増加などにより17億5千2百万円増加し、1,044億8千7百万円となりました。負債は、未払法人税等や賞与引当金の減少などにより3億9千3百万円減少し、351億2千1百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の増加などにより21億4千6百万円増加し、693億6千6百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ15億1千7百万円減少し、295億6千7百万円となりました。各キャッシュ・フローの概要は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億1千1百万円の資金の減少（前年同期比24億6千6百万円の減少）となりました。主に法人税等の支払額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億3千1百万円の資金の減少（前年同期比1億5千5百万円の減少）となりました。主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億1千5百万円の資金の減少（前年同期比3億3千7百万円の増加）となりました。主に配当金の支払額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結会計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年11月7日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,942	30,498
受取手形、売掛金及び契約資産	18,610	18,211
電子記録債権	898	797
製品	4,082	4,055
仕掛品	4,867	5,943
原材料及び貯蔵品	4,221	4,508
その他	2,884	3,349
貸倒引当金	△492	△525
流動資産合計	67,013	66,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,982	32,343
機械装置及び運搬具	20,007	21,075
土地	7,357	7,541
建設仮勘定	728	137
その他	4,421	4,705
減価償却累計額及び減損損失累計額	△31,410	△33,237
有形固定資産合計	31,087	32,566
無形固定資産		
のれん	113	112
その他	642	660
無形固定資産合計	756	773
投資その他の資産		
投資有価証券	2,947	3,236
繰延税金資産	791	906
その他	138	163
投資その他の資産合計	3,877	4,307
固定資産合計	35,721	37,647
資産合計	102,734	104,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,168	6,878
電子記録債務	1,206	1,114
1年内返済予定の長期借入金	158	311
未払費用	4,675	4,429
未払法人税等	1,323	723
契約負債	9,867	10,863
賞与引当金	731	213
役員賞与引当金	68	18
製品保証引当金	922	1,008
株式給付引当金	32	10
その他	2,764	2,675
流動負債合計	28,920	28,248
固定負債		
長期借入金	1,127	966
株式給付引当金	16	15
退職給付に係る負債	3,215	3,311
繰延税金負債	1,301	1,675
その他	933	904
固定負債合計	6,594	6,872
負債合計	35,514	35,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	3,205	3,181
利益剰余金	44,726	43,995
自己株式	△3,773	△3,697
株主資本合計	58,654	57,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	944	1,100
繰延ヘッジ損益	35	9
為替換算調整勘定	7,802	10,520
退職給付に係る調整累計額	△261	△258
その他の包括利益累計額合計	8,520	11,372
新株予約権	44	18
純資産合計	67,219	69,366
負債純資産合計	102,734	104,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	18,123	18,506
売上原価	11,941	12,141
売上総利益	6,182	6,364
販売費及び一般管理費	4,741	5,638
営業利益	1,441	726
営業外収益		
受取利息	141	124
受取配当金	39	62
持分法による投資利益	7	60
為替差益	46	10
デリバティブ評価益	—	27
その他	22	26
営業外収益合計	257	311
営業外費用		
支払利息	4	6
デリバティブ評価損	2	—
その他	4	5
営業外費用合計	12	12
経常利益	1,686	1,025
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
事業構造改善費用	—	485
特別損失合計	0	486
税金等調整前四半期純利益	1,687	540
法人税等	524	389
四半期純利益	1,162	150
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,162	150

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,162	150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	156
繰延ヘッジ損益	△76	△26
為替換算調整勘定	2,470	2,717
退職給付に係る調整額	4	3
その他の包括利益合計	2,362	2,851
四半期包括利益	3,524	3,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,524	3,001
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,687	540
減価償却費	555	638
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5	6
賞与引当金の増減額（△は減少）	△558	△518
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△58	△49
製品保証引当金の増減額（△は減少）	118	35
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△33	0
株式給付引当金の増減額（△は減少）	△14	△22
受取利息及び受取配当金	△180	△186
支払利息	4	6
持分法による投資損益（△は益）	△7	△60
デリバティブ評価損益（△は益）	2	△27
固定資産除売却損益（△は益）	△0	0
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	3,770	1,264
棚卸資産の増減額（△は増加）	△66	△717
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,342	△716
契約負債の増減額（△は減少）	779	555
前渡金の増減額（△は増加）	△213	△119
未払費用の増減額（△は減少）	△1,356	△657
その他	△17	△72
小計	2,068	△94
利息及び配当金の受取額	180	186
利息の支払額	△4	△6
法人税等の支払額	△689	△997
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,554	△911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△118	△125
定期預金の払戻による収入	169	66
有形固定資産の取得による支出	△899	△923
無形固定資産の取得による支出	△29	△50
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△875	△1,031
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	31
長期借入金の返済による支出	△191	△41
配当金の支払額	△1,038	△880
リース債務の返済による支出	△22	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,253	△915
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,314	1,340
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	740	△1,517
現金及び現金同等物の期首残高	26,995	31,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,736	29,567

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,836	4,286	18,123	—	18,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	—	15	△15	—
計	13,852	4,286	18,139	△15	18,123
セグメント利益	1,422	378	1,801	△360	1,441

(注) 1 セグメント利益の調整額△360百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,868	3,637	18,506	—	18,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	—	21	△21	—
計	14,890	3,637	18,528	△21	18,506
セグメント利益又は損失 (△)	1,508	△384	1,124	△398	726

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△398百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。